

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2023-56929
(P2023-56929A)

(43)公開日

令和5年4月20日(2023. 4. 20)

(51)Int. Cl.

H04L 7/00 (2006.01)

F I

H04L 7/00 990

テーマコード(参考)

5K047

審査請求 未請求 請求項の数 5 OL (全 34 頁)

(21)出願番号 特願2021-166441(P2021-166441)
(22)出願日 令和3年10月8日(2021. 10. 8)

(71)出願人 000004352
日本放送協会
東京都渋谷区神南2丁目2番1号
(74)代理人 100121119
弁理士 花村 泰伸
(72)発明者 山口 隆裕
東京都世田谷区砧一丁目10番11号 日
本放送協会放送技術研究所内
Fターム(参考) 5K047 AA15 AA18

(54)【発明の名称】時刻同期誤差生成装置及びプログラム

(57)【要約】

【課題】PTPにより時刻同期を行うネットワークにおいて、マスター機器とスレーブ機器との間の時刻同期の誤差を任意に生成する。

【解決手段】時刻同期誤差生成装置2-1の設定部10は、任意の滞留時間 d_1 、 d_2 、 d_3 、 d_4 及び時刻同期誤差 t を設定する。パケット識別部12は、マスター側から受信したSyncのPTP packetsを識別し、遅延部13は時間 $(d_1 - (d_A + d_B))$ だけ遅延させる。滞留時間追記部15は、そのPTP packetsの補正領域に滞留時間 $D_1 (= d_1 + t)$ を追記する。パケット識別部17は、スレーブ側から受信したDelay RequestのPTP packetsを識別し、遅延部18は時間 $(d_2 - (d_C + d_D))$ だけ遅延させる。滞留時間追記部20は、そのPTP packetsの補正領域に滞留時間 $D_2 (= d_2 - t)$ を追記する。

【選択図】図3

